



# 藻岩嶺

題字：齊藤

第44号

## 『手洗い研修会』

昨年引き続き、院内感染対策の基本となる「手洗い研修会」をH29年11月6日～12日の期間で全職員対象に行いました。部署に蛍光塗料とブラックライトを設置、手洗いチェックの手順に沿って、両手に汚れに見立てた蛍光塗料をまんべんなく塗布したあと、普段通りの手洗いと同じ手順での手洗いを行い、どちらもブラックライトに手をかざして洗い残しがないかチェックを行いました。自分ではきれいに洗えていると思って、指や爪の間、手首などに意外と汚れが残ってしまうことを目で見て確認する事が出来、手洗いの重要性を再確認する機会となりました。手洗いはインフルエンザやノロウィルスの予防だけでなく、最も基本的で効果的な感染対策のひとつでもある為、これからも継続して習慣づけていきたいと思ひます。



## 『院内勉強会の報告』

H29年12月13日・15日の2日間、治療抵抗性の統合失調症において有効と認められた抗精神病薬についての勉強会を行いました。重篤な血液の副作用を防ぐために患者モニタリングサービスに登録された医療機関のみで処方する事ができ、登録患者に対して血液検査等の基準が満たされた場合に限り使用できる薬剤である事を学びました。今回の勉強会でなぜ頻回に血液検査が必要なのか？血液の副作用になるとどんなことが起こるのか？などを確認することが出来ました。



また、H30年1月11日・12日に「患者さんに満足を与えるコミュニケーションとは～電話応対を中心に～」というテーマで接遇に関する研修会を開催しました。患者さんに満足を与えるコミュニケーションについて具体的な例を上げて

講義が行われ、好感を与える「話し方」、「聞き方」では2人1組になりロールプレイを実施しました。接遇研修を受けて職員からは「話し方、聞き方など、自分のできていない部分を確認できました」「訊く、聞く、聴くと言うそれぞれの言葉の意味を意識して聞いたことはなかったが傾聴の姿勢で聞きたいと思ひます」「マスクをしているのでアイコンタクトには気を付けようと思ひます」などの意見が聞かれ、日々の接遇を振り返り、今後の業務に生かす事ができる研修会になりました。



(文責：内林)

**理念** 適切な精神科医療・保健・福祉を目指し  
次の二つの柱を基礎に据えます

- 1.精神障害者の医療および保護を行い自立のために、社会復帰および社会的経済活動への支援をします。
- 2.その障害の予防に取り組み、市民の精神保健の向上を目指し、地域に根ざした病院を目指します。

**基本方針** 理念を実現するために5つの基本方針を定めます

- 1.私たちは、人権を尊重し、信頼と満足感を持っていただけるように努めます。
- 2.私たちは、あいての身になって受容的態度をもって接するように努めます。
- 3.私たちは、自己研鑽に努め、情報を共有し、連携・協力し合うチーム医療を目指します。
- 4.私たちは、常に新しい医療・保健・福祉システムを提供できるように努めます。
- 5.私たちは、地域における自らの役割を認識し、地域に貢献します。

## 患者さんの権利と責務について

**患者さんの権利**  
私達は、患者さんの以下の権利を遵守して日々の医療を行います。

- 1.安全で適切な医療を公平・平等に受ける権利
- 2.個人として人格を尊重される権利
- 3.治療、病状、検査などについて、十分な説明を受ける権利
- 4.十分な説明や情報提供のもと、どのような医療を受けるかを選択する権利
- 5.個人情報やプライバシーが守られる権利
- 6.セカンドオピニオンを受ける権利
- 7.精神保健福祉法を遵守した医療を受ける権利

**患者さんの責務**

- 1.最善で適切な医療を受けるために、病状経過や過去の治療歴・アレルギー歴などの情報を提供する必要があります。
- 2.治療効果をあげるために、医療関係者と共同して治療に取り組む必要があります。
- 3.円滑な医療サービス体制を確保するために、病院や社会生活上のルールやマナーを遵守する必要があります。



改装後 平松記念病院 外観

## 「平松記念病院の診療目標」



病院長 宗 代次

今年には精神医療の転換期になるのではと思っています。国は平成30年4月から地域包括ケアシステムを本格的に実施します。医療から福祉まで、病床数や福祉施設、介護の利用について適切な数値を努力目標として決めていくというものです。当院としても、時の流れに沿うよう入院から在宅療養支援への流れにスムーズに対応し、地域のニーズに応えるよう努力していきたいと思ひます。具体的には以下の3点を重点目標として掲げます。

- I. 地域に開かれた病院を目指します。  
精神保健相談、地域連携室の充実、広報誌や市民講座を通じた情報発信を行っていきます。
- II. 入院を必要とされる方には精神療法、薬物療法、作業療法など、各種専門療法を行うことで退院促進を図っていきます。
- III. 外来治療のさらなる充実を目指します。  
作業療法・デイケア・訪問看護を包括的在宅療養支援の三本柱として、連携・協力し、行っていきます。  
1.作業療法：外来作業療法に多様なプログラムを用意します。  
2.デイケア・ショートケア：通所メンバーに即した在宅療養支援を行います。就労支援プログラムをしっかりと行います。  
3.訪問看護（アウトリーチ）：単身者の在宅支援と患者・家族の支援をします。



### 編集後記

いよいよ平昌冬季オリンピック・パラリンピックが開催されます。冬季大会でアジア圏での開催は長野オリンピック以来、20年ぶりのようです。当時、僕は小学生でスピードスケートの授業があり、必死に練習した記憶があります。現在は滑れるかわかりませんが機会があれば挑戦してみようかと思ひます。

今後も新しい情報を発信していけるよう頑張っていきます。本年も藻岩嶺をよろしくお願ひ致します。

広報委員 鎌田

発行人：平松記念病院 広報委員会  
発行日：2018年1月発行

☎064-8536  
札幌市中央区南22条西14丁目1番20号  
ホームページ： <http://www.hiramatsu-mhp.or.jp>

お問い合わせ：  
E-mail: [webmaster@hiramatsu-mhp.or.jp](mailto:webmaster@hiramatsu-mhp.or.jp)  
TEL:(011)561-0708 FAX:(011)552-5710

表紙写真提供：広報委員



# 秋の音楽祭



平成29年9月27日にフィオーレ合奏団様に来ていただき、秋の音楽祭が開催されました。ヴァイオリンの演奏と聞くと少し身構えてしまう部分もありそうですが、馴染みのある歌謡曲なども演奏されており、みなさんが楽しめる音楽祭となっていました。



## もいわ展



平成29年10月18日に秋のイベント「もいわ展」が開催されました。

1年間活動で作った物を発表する場という事もあり、もいわ展直前に仕上げに集中して取り組む人の姿もみられました。今年も宗院長に作品を見ていただき、6つの作品が優秀賞に選ばれました。毎年恒例の喫茶や即売コーナーも多くの人々が訪れ、今年のもいわ展も大盛況のまま終了いたしました。

# 平松クリスマス会開催



平成29年度のクリスマス会はいつもより遅く、よりクリスマスに近い日付の12月20日に行われました。今年のゲストは札幌ハーモニカアンサンブルの皆さんで、弦楽器なども合わせた演奏を披露してくださいました。すっかりお馴染みとなったお楽しみ抽選会も好評でした。毎年、少しずつですがリニューアルしているクリスマス会。来年もみなさんが楽しめるクリスマス会にしていきたいと思っています。



## DC 部門紹介「デイケア」VOL.2

当院デイケアでは多くのプログラムが開講されています。

前回号につづきプログラム担当しているスタッフからお勧めのプログラムを紹介してもらいました。

### 看護師日野原のおすすめ

#### プログラム「調理」

栄養の偏り・・・メタボリックシンドローム・・・食生活って大切とわかっているけど、どう工夫したらよいかわからない方多いと思います。デイケアでは月に一回、管理栄養士さんをお迎えして、簡単でおいしく、お財布にもやさしい調理プログラムを開催しています



### 看護師斉藤(千)のおすすめ

#### プログラム

#### 「絵手紙&ちぎり絵の会」

絵手紙はハガキなどに自由に絵と言葉を描きます。果物や花、人物景色など・・・

夏は団扇に描き涼しさを演出します。ちぎり絵は和紙を用いて四季折々の自然、風景を表現します。どちらかを自由に選択して制作できます。



### 作業療法士斉藤(真)のおすすめ

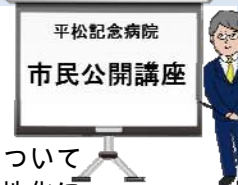
#### プログラム「リハビリ」

身体機能の維持・向上を目的としたプログラムです。主に体幹トレーニング・棒体操・ストレッチなどの軽運動を行っています。また、『歩きにくくなった』『最近、よく転ぶ』『腰が張ってだるい』等、様々な生活上での身体の悩みに応じて個別リハビリ・自宅でも行える運動の提供も行っています。



## 第13回 市民公開講座開催のご報告

平成29年10月21日第13回平松記念病院市民公開講座を開催いたしました。今回は、当院の薬剤師、臨床心理士が講師でした。薬剤師からの講演では、薬についてや睡眠薬についての身近だけどよく理解していなかったことを改めて学ぶ場となり、心理士からの講演では、脳の活性化についてのプログラムを実際に体験し、会場全体が和やかな雰囲気につつまれました。終了後に回収したアンケートでは、「わかっているようで知らないことが多く勉強になった」「参加型の講演でとても楽しかった」「また参加したい」といった大変うれしい感想が多く寄せられました。次回もまた多くの方に参加していただけるよう、親しみやすく参加しやすい講座開催を目指してまいります。今後の公開講座につきましては当院ホームページ等でお知らせしてまいりますので、皆様のご参加お待ちしております。(文責：井村)



## 病院改修工事について

H29年夏頃より病院外壁工事および院内内装等の改修工事をおこなわれております。工事期間中は患者様およびご来訪の皆様には、騒音等で大変ご迷惑をおかけしておりますが、引き続きご理解・ご協力をお願い致します。



- ★病院の外壁が変わりました
- ★外来トイレはウォッシュレット付
- ★多目的トイレはオストメイト対応設備 オムツ替えシートも設置いたしました